

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/01/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586005302	科目番号 / Course code	05860053
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12711_005		
授業科目名 / Course title	B3経済活動と社会 / Economic Activity and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shikimi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 (片淵キャンパス)・東南アジア研究所3階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日15:00-16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初等な統計的手法を説明する。		
授業到達目標/Course goals	社会・経済データを読み解く力を涵養することを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験80%、授業への主体的参加 (質問や議論) 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	統計分析		
教科書・教材・参考書/Materials	指定無し。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。 授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または 「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp"		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)			

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	記述統計 中心を測る—平均値とメディアン
第3回	バラツキを測る—標準偏差とChebyshevの不等式
第4回	度数分布とヒストグラム
第5回	まっすぐな関係の程度を測る—散布図、相関係数
第6回	まっすぐな関係を推定する—回帰直線(1)
第7回	まっすぐな関係を推定する—回帰直線(2)
第8回	ローレンツ曲線とジニ係数
第9回	問題演習
第10回	確率論 二項分布(1)
第11回	二項分布(2)
第12回	ポアソン分布
第13回	正規分布(1)
第14回	正規分布(2)
第15回	問題演習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586005702	科目番号 / Course code	05860057
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12721_005		
授業科目名 / Course title	B3企業の仕組みと行動 / Organization and Behavior of Enterprise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 史早 / TAKAHASHI Fumisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 史早 / TAKAHASHI Fumisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 史早 / TAKAHASHI Fumisa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahashi_f_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階504		
担当教員TEL/Tel	takahashi_f_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	片淵キャンパス常勤のため授業の前か終了後、もしくはE-mailにて適宜受け付け。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	企業がマーケティング戦略を適切に構築していくためには、自社の製品・サービスの買手である消費者についての深い理解が不可欠となります。本講義では、消費者心理を中心に、消費者の購買意思決定モデルをはじめとした消費者行動に関する理論およびその応用方法を講義していきます。		
授業到達目標/Course goals	この授業を通じて受講者は、以下の目標に到達することが期待されます。 ・購買意思決定モデルについて適切に理解し、応用する力を身につける (DP1,2) ・事例分析や演習を通して、消費者行動に関する課題を把握することができる (DP4) ・グループディスカッションを通じ、深く考え、自分の意見を相手に明確に伝えることができる (DP3)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末レポート (60%) , 講義への参画度 (40%)。講義への参画度の評価は、各回のディスカッション及びコメントシートの記入内容を評価点とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 毎回の講義内容を事前にLACSで確認し、自分なりの考えを持つように努めて下さい (2h)。 事後学習: 自身の普段の購買行動を振り返るとともに、講義で学んだことを自分なりにまとめ、今後の購買行動に活用してください (2h)。		
キーワード/Keywords	消費者行動, 購買意思決定モデル, 顧客満足		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない 参考図書: 松井剛, 西川英彦 (2016) 『1からの消費者行動』 碩学舎		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	講義ではグループディスカッションを行いますので、積極的な姿勢で受講してください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	<p>企業のマーケティング活動は消費者の行動と密接に関係しています。自身も消費者の一人であることを念頭に、講義で学んだ内容を日々の中で活用してください。また、グループ討論を通じて他者の視点に触れ、視野を広げてください。</p>
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>高橋史早 / 海外の政府関係者に対する研修経験を活かし、学生の視野を広げるとともに、それを身に付けるために自らが考え行動することを促す。</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	ガイダンス
2	消費行動と消費パターン
3	消費者行動プロセス
4	購買意思決定プロセス
5	情報探索
6	情報処理モード
7	意思決定ルール
8	コンティンジェンシーモデル
9	購買後期待不一致モデル
10	認知的不協和
11	関与 1
12	関与 2
13	マーケティング戦略
14	マーケティング戦略
15	マーケティング戦略

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586006102	科目番号 / Course code	05860061
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12731_005		
授業科目名 / Course title	B3経済政策と公共部門 / Economic Policy and Public Sector		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山岡 時生 / yamaoka tokio		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山岡 時生 / yamaoka tokio		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山岡 時生 / yamaoka tokio		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	Tokio.yamaoka nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館624号室		
担当教員TEL/Tel	Tokio.yamaoka nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	(メールでアポ対応しますが片淵ですので) 授業前後に質問してもらえれば対応します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	経済のグローバル化が進展する中、企業は日本経済のみならず世界経済の状況を勘案して活動していく必要があります。本講義では、日本の貿易構造の変化、国際経済問題が日本に与える影響及び直面する課題を国際機関等の活動を通じて概観し、それら課題について公共部門の役割や地域社会への影響について考察します。		
授業到達目標/Course goals	国際経済に係る基礎的素養及び幅広い知識を身につけ、国際経済に関するニュースの概要の理解するなどによりその最新の動きを把握し、それら素養と知識を駆使した思考方法・素養を身につけるため、国際経済が直面する最新の課題について自らの考えを説明できるようになることを目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小レポート (約70%)、定期試験 (約30%) 程度の割合で評価します。 *小レポートでは、課題に関する自分の考えを記述することを重視、また、アクティブ・ラーニングを取り入れるため、出席し議論に貢献することを重視します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前にLACSに掲載する授業のパワーポイントを読み、知らない用語等基本的事項は調べておくこと (2h)、また事後には授業での説明・議論を踏まえたレポートを提出することを課します。 (2h)		
キーワード/Keywords	グローバル化、貿易自由化、保護貿易、食料安全保障、環境保護、知的財産保護、長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。毎回の講義資料はLACSに掲載します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp"
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	経済のグローバル化が進展する中、地域経済を含めた日本のあり方について共に考えたく思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	教員は財務省税関より出向中。国際機関（UNCTAD）や在外（在ベルギー大使館、米国プリンストン大学）での経験が豊富であるため、WTO・EPAを含めた国際貿易・交渉の実態や税関における実務問題も踏まえ講義します。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1・2回	イントロダクション、貿易等概況
第3・4回	ブレトンウッズ体制・国連
第5・6回	貿易自由化と保護貿易
第7・8回	途上国と援助
第9・10回	環境保護等
第11・12回	知的財産権
第13・14回	食料・エネルギー安全保障
第15回、第16回	第15回 長崎経済の課題、講義全体のまとめ、第16回 定期試験 （注）講義内容は前後することがあります。また、一部講義で外部専門家による講義を検討中です。